

有田医師会在宅医療サポートセンター だより

平成31年
1月
第4号

新年明けましておめでとうございます。

私たち有田医師会では、平成28年4月より在宅医療の推進や地域包括ケアシステム構築に寄与するため、「有田医師会在宅医療サポートセンター」を開設いたしました。

有田医師会在宅医療サポートセンターは、本年度より有田郡3町より委託された事業となり、有田医師会内に窓口を設置しております。医師会員を含め、行政をはじめとする地域包括ケア関連機関との連携をより発展させ、地域住民の皆様が住み慣れた場所で、自分らしく安心して生活できるように、地域医療に求められる最適なケアを提供するための支援、情報提供を行っています。有田郡内の地域連携室としての役割を果たすべく日々活動していますので、困ったことがあればお気軽に相談してください。

有田医師会在宅医療サポートセンター
センター長 横矢 行弘

平成30年度在宅医療サポートセンターと仲間たちの会

顔の見える関係づくりを目的に開催しています。それぞれが抱える問題を話し合ったり、情報交換の場となっています。ご出席いただいた皆様、ありがとうございました。

- 平成30年6月6日(水) 介護支援専門員の巻
- 平成30年8月29日(水) 訪問介護事業所の巻
- 平成30年12月5日(水) 地域包括支援センターの巻



研修会を開催しました

平成29年度医療と介護連携研修会【平成30年3月3日(土) 橘家にて】

講演「地域包括ケアが求める高齢者の食支援をめざして」

～「食べる力」の見える化と連携の構築～

講師：公立能登総合病院 歯科口腔外科部長 長谷 剛志 先生

参加者：医療・介護関係者、行政職員等 85名

有田地域では、各施設の食形態をまとめた「有田圏域版嚥下調整食早見表」を作成し、食の連携が進められています。口や喉の機能評価だけでなく、食事介助や配食・食を通じての地域づくりなど、多職種が連携し地域で最期まで寄りそう「食支援」についてお話しされました。「食べる力」は「生きる力」に繋がる大切なことを学びました。



平成30年度医療と介護連携研修会【平成30年10月15日(土) 有田市消防本部5階にて】

講演「自分らしい生き方 死に方」

講師：坂口医院院長 坂口 健太郎 先生

参加者：住民、医療・介護関係者、行政職員等 70名

紀の川市で在宅医療において幅広く活躍されておられる坂口先生にご講演いただきました。在宅死に関わる問題を豊富な経験に基づき、ユーモアも交えながらお話しくださいました。研修会の参加者各々が自分・家族の最期についてあらためて考える機会となりました。



有田医師会在宅医療サポートセンター

〒643-0004 有田郡湯浅町湯浅2430-77
TEL: 090-6970-6303 FAX: 0737-63-6309
HP: <http://www.arida-support.com/>



訪問歯科診療とは

寝たきりの方、歩行困難の方など何らかの理由で通院できず、口腔ケア・入れ歯・むし歯等でお困りの方に対して、在宅・施設・病院等へ歯科医師がお伺いし、歯科治療や口腔ケアを行います。

訪問歯科診療を希望される場合は、かかりつけ歯科医がいる場合はその先生にご相談ください。かかりつけ歯科医がない場合や、どこの歯科医院へ訪問歯科診療を頼んでいいかわからない場合には、当在宅医療サポートセンターにご相談ください。



有田地方地域連携パス ～もしものためのノート～

知っているようで、意外と知らない…。覚えているようで、案外覚えていない…。
家族に関すること、生活に関すること、医療に関すること。

『もしものためのノート』は、あなたに関するさまざまな情報をわかりやすくまとめておくためのノートです。

かかりつけ医や訪問看護ステーション、介護サービスなどで情報を共有し、スムーズに医療や介護が受けられることを目指して作成されました。

エンディングの部分は、若いうち、元気なうちから使うことで、あなた自身の「生き方」について、ご家族や周囲の人たちと一緒に話し合える機会がもてます。

万が一の場合、延命治療はどうするのか、人生の最期はどこで過ごしたいか、など自分の意思を明確に記すことができます。

普段は面と向かって言えない、家族や友人・大切な人へのメッセージも一緒に残せます。

考えや状況は変わることがあります。時々見直したり書き足したりしてあなた自身のノートを作成しましょう。

ご希望の方には、『もしものためのノート』を
差し上げます（無料）
お気軽にご連絡ください

